



# 手をつなご だより

Vol. 66  
2015年9月号  
(年2回発行)

発行人 特定非営利活動法人手をつなご理事長 千葉 勝恵

〒177-0051 練馬区石神井台5-9-6 TEL03-6767-2577

Mail : tewotsunago@nethome.ne.jp URL : http://tewotsunago.ciao.jp/

## ♡ いま伝えたいこと

手をつなご理事長 千葉 勝恵

8月15日、70回目の終戦記念日を迎えました。若い人たちにとっては、ずっと昔に聞こえるでしょうが、我々年寄りにとっては、まだまだ戦後70年を引きずり、ノーモア広島・ノーモア長崎をつたえていかねばと、これからの世界にあってはならないことだと誰もが確信しているのです。

今の世の中は自由に諸外国にも行けるし、世界隅々の国のこと、宇宙のことまでもリアルタイムで見ることができます。遠い未来のことさえも予測可能な時代になってきているようです。誰もが文明の進化を望み、豊かな生活と幸せを夢見、学び、努力もし、頑張っていることも知っています。

しかし、希望の裏側にある何か大切なものを忘れていないだろうかと気になるのは私だけでしょうか。私はくしくも、長崎原爆の被災者なのです。と、いっても当時3歳・爆心地から3.4キロメートルの被ばくの記憶はほとんどなく、断片的で、今、思い浮かぶ事は後から作られた記憶なのではないかと思っています。

8月9日の式典や、70年間の長きにわたって公開されてこなかった当時の写真やビデオが、先日テレビ公開され、ご存命の方々の現在をも放映されていました。言葉では言い尽くしがたいどんなに大変な人生であったのだろうかと思いつつ、爆死された方たち、戦死された方とその周りの方々の戦後はなかったのではないかとすると、とてもつ

らくなります。私の成長の中でさえも、自分自身葛藤の時期もあり、学校教育の一環で鑑賞させられた映画を見て、もしかしたら、自分もいつか髪の毛が抜け落ちるのではないか、歯茎から血が出ると、このまま出血が止まらないかもしれないなど恐怖を抱いたりもしました。また、多感な少女時代には、原爆で死んでいたら良かったのになど思うこともあったりもしました。

今を生きる私たちが声を大にして言わねばならないのは、『もう2度と戦争はしない!』ということ。『世界中どこでも、あってはならない』ということ。

今また、戦争に向かおうとしていないだろうか、気になります。川内原発が稼働を始めました。大震災での福島のごみ処理を心配します。福島に築いたお家に帰ることができない人、まだ家族バラバラに暮らしている方達もあると聞きます。原発の力を借りずとも、電力は足りていたのではないのでしょうか。恐ろしい核の力に頼らずとも、自然の力では、ダメなのでしょう。6月末に震災の被災地釜石へ行ってきました。4年もたっているのに、復興がとても遅れていました。仮設住宅に泊まり、釜石の保育園、仮設住まいの方達への励ましになればと、南京玉簾を演じたり、お話をしたりしました。ボランティアセンターの方達は、言います。「被災地のことを忘れないでほしい」と。まだまだこんなに復興が遅れているのかと呆然とさせられました。私達に出来ること、小さいことでも励まし、援助していきましょう。

## ♡手をつなごの理念策定

平成24年度からの「手をつなごのこれからを考える会」の提言をうけて、手をつなごの理念についての確認検討すり合せが行われ、策定されました。5月の総会でお披露目し、手をつなごの各事業所で共有しています。

会員の皆様とも、共に育ちあい育てあい支えあいの輪を広げつつ、しっかりと毎日の事業を進めていきたいと思えます。

子どもの幸せは、すべての幸せの源です。

### 手をつなごの理念

子どもの幸せをめざし、

- 一、 地域の子育てを応援します
- 一、 人と人とのつながりをつくります
- 一、 育ちあい育てあい支えあいを広げます

♡ 言われて嬉しい

## 「福島さん〇〇君が来てるよ」

貫井子ども家庭支援センター勤務 福島敦子

「福島さん！また、〇〇君が来てるよ～」とスタッフに声を掛けられて、ひろばに目を向けると、事務室を覗きこんでいる男の子がいる。近づくときゃっきゃつと声を出して、逃げていく。何回かそれを繰り返して楽しんでいる。1歳半位。えくぼが可愛い、いたずらっ子そうな笑顔。

「福島さんの事が、お気に入りなんだって。」と言われ、とても嬉しい。胸がキュンとして、幸せホルモンが出てきそう。男の子が、楽しそうにあそんでいる姿を、見守っているお母さんも嬉しそうに目を細めている。

朝から幸せをもらって、今日も一日頑張ろうと思う。

♡ いま伝えたい

## 『ありがとう』という言葉

あいあいあい南大泉勤務 櫻井智子

私が、あい南でお世話になり始めてから半年が経とうとしている今、改めて言葉の素晴らしさに気づかせてくれた言葉があります。それは、『ありがとう』という五文字の言葉です。

今までは、自分が親切にしてもらった時、何か頂いた時、何気なく口にしていた『ありがとう』の言葉でしたが、25年ぶりに社会復帰をすることに全く自信のなかった私に利用者の方から初めて言われた『ありがとう』の言葉は、私に大きな勇気と喜びを呼び起こさせてくれたのです。そして、『ありがとう』の言葉は私に、人を励まし人を幸せにしてくれるとても素敵な言葉であることを気づかせてくれました。

家族に言うにはちょっぴり恥ずかしい『ありがとう』も素直な気持ちで言ってみたら当たり前の毎日がとても幸せに思えてくるような……。そして、これから出会う人たちにもっと心を込めて『ありがとう』を伝えたら『ありがとう』という言葉の響きが人と人とのつながりをもっともっと広げてくれることに気づくでしょう。

私は今、手をつなごの皆様、あい南利用者の皆様に『ありがとう』という言葉の素晴らしさを教えていただき、感謝の気持ちを心からこめて『ありがとうございます。』と言いたいです。これからもずっとずっと……。

読む会員交流企画

いま伝えたいこと

もしくは 言われて嬉しい言葉

♡ 言われて嬉しい

## ママのご飯が一番好き！

あいあいあい石神井台勤務 松井良江

うち子ども達は『ママのご飯が一番好き！』と言ってくれます。決して‘美味しい’ではありませんが嬉しく思います。毎日沢山食べてくれるので、お陰様で家族みんな大きく育っています。11歳の息子は朝から「今日の夕飯は何？」と聞いてくれます。朝からプレッシャーをかけられるのです…

私自身も幼い頃、六畳広間でテレビを囲み家族みんなで食事をした光景をよく覚えていて、楽しかった記憶があります。ごく普通の生活ですが、最近何かと忙しい小学生の子どもとゆっくり話し合える大切な時間です。

特にこれから思春期を迎え反抗期に突入する息子の心をしっかり繋ぎとめるのはやはり‘おふくろの味’でしょうか。

♡ いま伝えたい

## 「永遠平和のために」

関子ども家庭支援センター勤務 森本克予

戦後70年にあたる今年は平和についての論争や記事、番組などが多く見られます。私は、「世界の平和」「永遠の平和」を望むひとりですが、この大切なことをきちんと伝えてきたかしら？と、考えてしまいました。

友人に誘われて行った講演会で「過去に何があったか知ると、今起きている事を深く考えられるようになる。」という体験者からの言葉に、次世代に伝えて行く事の大切さを改めて深く思いました。そこで、「たまには、哲学者の言うことに耳を傾けよ！」といったカントの「永遠平和のために」を読むことから始めました。

そこには「永遠平和は空虚な理念ではなく、われわれに課せられた使命である。」とありました。300年前からいわれていることが、いまだ実現出来ない難しさに心が折れそうになりますが、なおさら、少しでも、より良い社会をめざしたいものです。

♡ 言って嬉しい 言われて嬉しい

## 『だいすき!』『ありがとう』

関びよびよ保育補助・保育サポーター 中村美子

ある日、バスに乗った時のこと。2~3歳くらいの男の子とおかあさんが、私の前の席に座っていました。シーンとしたバスの中、男の子の声か・・・「おかあさん、だいすき」。おかあさんが「ありがと」。しばらくするとまた、「おかあさん、だいすき」「ありがと」。そんな2人の会話がバスの中に響きました。

何度か繰り返された時、私も含め、バスに乗っていた母親経験者たちから、「こんなに大好きって言ってもらえて、ほんとに幸せねえ〜」と声があがりました。そして皆で「ほんとにねえ〜」と共感しきり。ほっこりした幸せな気持ちでいっぱいになりました。



子どもが「おかあさん、だいすき」と言ってくれる時は、ほんの少し。その幸せをいっぱい貯金しておくべし!と思った、とてもイイ時間でした。

♡ いま伝えたい

## 「受容と承認の大切さ」

今年5月末事務局退職 関口澄子

わが子や夫に、食事を「うまい」とか「また作って!」「お母さんの〇〇大好物!」等と言われるのが最高に嬉しい。「疲れているけどもう一品♪」とつい張切ってしまう。きっと、雑多な家事の中で食事作りに特に思いを込めているからだろう。

家事に限らず子育てや仕事、社会活動等人間と人間が関わり合う中で、人は常に何らかの思いや願い、向上心を持ち行動し、そして「承認」を欲しているのだと思う。いくつになっても、きっとおばあちゃんになってもずっと誰かに認めて誉めてもらいたい。皆そうなのではと思う。

ディズニーランドの人材育成でも「recognition(認められている)」ことが最大の人材育成だと聞いた。ミッキーマウスは常に「Welcome!」100%人々を受容し承認しているでしょ♪と。

5年半お世話になった手をつなごにて、大先輩や同僚から頂いた受容と承認を、次は家族や社会に対して実践することで恩返し出来ればと思います。ありがとうございました。

♡ 言われて嬉しい

## 「大きくなったね」

保育サポーター 土屋直子

今年小学生になった息子は、0歳から幼稚園入園まで関びよびよに頻繁に通い、広場でスタッフの皆さんや他のお母さん達からも可愛がって頂き、親子共に楽しい乳幼児期を過ごしました。ぴよぴよ卒業時はとても寂しかったです。

あれから3年。小学校に入学し、ぴよぴよでお会いしていたお子さんお母さんに再会する機会が増えました。その際「大きくなったね!」と相手のお母さんに掛けられるその言葉が、とても嬉しく感じます。実際に身体が大きくなったのは勿論ですが、大きくなる前の小さかったあの時期を知ってくれているというのがとても嬉しいです。

初めての子育てで右往左往していたあの頃、ぴよぴよでいろいろなお母さんと育児の話やたわいもないお喋りをして楽しい時間を過ごしたあの時間。お互いに赤ちゃんだった子ども達が今やピカピカの一年生。「大きくなったね」という言葉は「お互いに育児頑張ったよね」と言われているようにも感じ、嬉しく思えるのです。

♡ いま伝えたい 「手をつなご」

理事・事務局勤務 細谷美保子

私は手をつなごが大好きだ。

なぜと聞かれても答えに困る。愛着のようなものかもしれない。だからなのか、私の中の「こうありたい」という理想や「こうあって欲しい」という期待・妄想は、持て余すほどに大きく育ってしまっている。

そういえば出会いの当初から「手をつなご」という語感がたまらなく好きだった。手をつなぎたいと思ったら、相手に拒否されるかもしれないなどとは少しも心配することなく、子どものように無邪気に手を差し出す感じが大好きだ。

今年、手をつなごの理念をようやく文字化できた。つながりあい、支えあって、子どもも大人も成長できるように、私たちは何らかのアクションを起こし続ける。

誰もが安心して「手をつなご」と言いやすい環境になれば、きっと子どもたちも幸せであるに違いない。まずは自分たちが頑張りすぎず支えあえるスキルを身に着けなければ。手始めに周りに見える人に言ってみよう。「手をつなご。」

## 定期総会のご報告と 臨時総会開催のお知らせ

5月24日(日)、関町北地区区民館1F大広間にて第14回総会を開催しました。

事業報告・決算、事業計画案・予算案、定款変更、役員報酬をなくすことについて、それぞれ賛成多数をもって承認されました。定款変更では、手をつなごの理念文字化や事業についての見直し等を反映させ、目的の文言その他を変更しました。

なお、5月総会において承認されました議案についてですが、いくつか新たに修正案があり、このたび再度議決承認が必要になりました。

理由のひとつは、来年度より練馬区からの受託事業・補助金事業以外に**手をつなご自主事業**(※1)を本格化してゆく方向になり、準備のために今年度もいくらか予算修正が必要になったこと。もうひとつは会費についての変更です。

正会員の皆様には、追って詳細をお送りします。お忙しいところ恐縮ですが、何卒ご協力のほどを宜しくお願い申し上げます。

(※1) NPO法人サービスグラント様にマーケティング基礎調査のお手伝いをいただきつつ、各方面にインタビュー等ご協力をいただきながら、手をつなごならではの子育て支援について鋭意検討中です。

## 保育サポーター講習会

今年度は関町界隈での開催予定です。例年通り、看護師、臨床心理士、小児科医師、保健師、栄養士、大学教員等近隣子育て支援NPOの皆様にもご協力いただき、今年も有意義な講座になりそうです。会員のみならず、ご都合付きましたら是非一緒しませんか。(それぞれ開催1週間前までにご一報ください。時間場所等、詳細についてお伝えします。)

9/29(火)心の発達と保護者の関わり、保育の心  
10/6(火)小児看護の基礎知識、  
10/9(金)身体の発達と病気、  
10/13(火)子どもの事故傷害、子育て支援サービス、  
10/20(火)子どもの栄養と食生活、子どもの遊び、  
10/27(火)障害のある子の預かりについて、子どもの生活へのケアと援助

今年も9名の受講生が学び始め、新たな手をつなごメンバーの誕生が期待されます。

## 手をつなご自主ゼミ企画

平成27年度から始めた自主ゼミは、今のところ以下の2種、ぜひ一緒に学びましょう。

### 保育士資格取得マラソン

年7回、今までは筆記試験に向けて、過去問題や予想問題をシェアして定期的に進捗状況を伝えあい励ましあいながら、9月の筆記試験に臨みました。(今年は、子連れで参加の方が勉強中は、千葉理事長がお子さんと遊ぶ、という役回りをしていました。)10月にはよいよ実技試験があり、それにむけて10/7に最後の勉強会を行い、今年度は終了予定です。3年計画で取得するのが普通なので、一発合格は難しいことも多いようですが、合格者が出るといいですね!

なお、来年度も継続予定です。もしも今年だめでも、引き続き一緒に頑張っていきましょう。新たに頑張りたい方がいらっしゃいましたら、ご一緒しましょう。来年度の日程等詳細については、決まり次第HPにてご案内いたします。

### 家族支援ゼミ

5月より隔月1回、林真未理事が子育て真最中に一念発起してカナダの大学で学んだカナダのファミリーライフエディケーションに基づき、ゼミ学習を続けています。

5月「自己覚知・自己認識(Self-Awareness)」について学習後に子育てのひろばで仕事をすることについて話し合い。

7月「レスパイトケア(respite-care)」について学習後に一時保育は子どものためか保護者のためかについて議論しました。先日は「エコロジカル・アプローチ」についての学習後に各自支援者としての立ち位置を確認しつつ、直接的間接的に何をすべきかを議論しました。今後も学習を継続し、高め合いの機会を持ちます。

次回は11/11(水)18時半～石神井台にある「手をつなごの家」にて、「パワーとエンパワー」について学習予定です。自己紹介の後、おしゃべり会のようなワークショップのような、林理事の「トークショップ」形式で進められます。参加する皆さんは、それぞれの立場から自由に発言しています。わからないことは、わからないままにせず聞ける、教えあえる、そんな雰囲気自主企画・自主参加型のゼミです。興味関心のある方はぜひご参加ください。